

組合 Q & A

組合は、今、何をなすべきか

組合設立当時の存在意義がうすれて、組合員の組合離れ現象が顕著である。組合は、今、何をなすべきか

組合は、今、悩んでいます。その理由は、施策活用型の組合が多かったことに原因があると思います。

昔は、中小企業施策は組合を中心に講じられていました。今は、個別企業もOKですし、産学官連携、新連携、農商工連携など組合以外の組織も支援対象になっています。

こうした中で組合の魅力は薄れ、組合員の脱退が止まりません。今、組合がなすべきことは脱退阻止ではなく、組合活動に積極的な組合員をハッピーにすることではないでしょうか。そして、その具体的方法は、個々の組合員企業の経営力強化だと思います。

ある組合の青年部に「もし、組合に人材も資金も潤沢にあったら、

何をしてほしいか」とアンケートをとったところ、多かったのが「勉強」と「共同宣伝」でした。この二つは同じことを言っています。実力を付けてその結果を世間にアピールしてほしい、というわけです。

組合員は共同事業によるスケールメリットよりも、個々の企業の強化を求めています。駅伝のようなもので、走るときは一人だから自分を強くしたい、己を鍛える過程は皆の力を借りたい、そんな風に考えているのです。

団結し規模を大きくして強くなることよりも、一人一人のままで強くなることを求めています。昔は規模の大きさは強さを意味しましたが、今は違います。今、組合に求められているのは、個々の企業の経営力を強化することです。中小企業の強みである機動性・創造性に磨きをかける方向に組合の路を変えなければなりません。

共同事業に意味がないというのはありません。個々の経営力を強化する過程で、共同事業が必要になったなら、その時は、ビジネスモデルをしつかりと確立したうえで実行します。言いたいのは、

一個一〇円のを一〇個仕入れたら二割引きになる、こんな机上の理屈では共同事業はうまくいかないということです。

個々の組合員企業の経営力を強化する方法は組合が道場機能を持つことです。教育情報事業として実施してきた一方通行の講習会では組合員は満足しません。個別企業の経営をテーマを絞って持ち寄り、七人八人のグループによる切磋琢磨の道場を開催するのです。

ただ、集めて「さあ切磋琢磨しろ」と言っても始まりませんから、組合独自のプログラムを作る必要があります。そのプログラムを作成し、共有して、実行することが、今、組合のなすべきことだと考えます。

ポイント

★個々の組合員の経営力を強化すること

中小企業組合理事のためのQ & A

清水透著・2010年5月25日（新訂）第1版第1刷発行より転載。

● ◎ご購入のお申込み等、図書についての詳細は全国中小企業団体中央会のホームページをご参照下さい。（トッブページ▽中央会の出版刊行物）

組合士検定にチャレンジ!!

Q. 組合員、登記、届出に関する正誤問題です。

【第1問】代表理事が住所を変更したときは、組合の主たる事務所の所在地において2週間以内に変更の登記をしなければならない。
【第2問】任期満了で同一人が代表理事に再選された場合は、変更登記は不要である。

【第3問】理事及び監事の変更登記は、変更後2週間以内にしなければならない。

【第4問】組合は、組合員名簿を主たる事務所に備え置かなければならない。

【第5問】組合員名簿は、組合員又は組合の債権者からの閲覧請求があれば、正当な理由なくこれを拒むことができない。

《解答》【第1問】○【第2問】×（役員の任期満了による選挙で、代表理事に同じ人が再選された場合でも、代表理事の変更登記を行わなければならない。）【第3問】×（中小企業組合は、登記するのは代表理事だけでなく、代表権のない理事及び監事については登記の必要はない。）【第4問】○【第5問】○